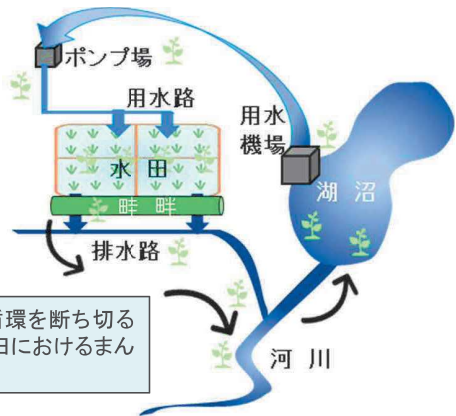


- ナガエツルノゲイトウはかんがい用水等を経由して水田に侵入し、水田で発生した茎断片が流出し流域内を循環する。茎断片の水田への侵入と水田からの流出を防止する。



茎断片の循環を断ち切るために、水田におけるまん延を防止。

## 水田に侵入させない



給水栓の口に収穫ネットを被せ流入を防止



農機に付着した茎断片が拡散しない作業手順の工夫(未発生ほ場→多発ほ場)。機械洗浄の励行

## 水田から流出させない



田植え前の落水時、水尻にザル等を置いて茎断片の流出を防止



機械除草は茎断片の水田への飛散、水路への落下に注意

除去したナガエツルノゲイトウは水気を切り、ゴミ袋に入れ固く口を結び焼却処分



## 水田や畦畔でまん延させない



畔塗りにより茎断片が畦畔に埋め込まれる。畦畔際の水田は除草剤による防除が効果的

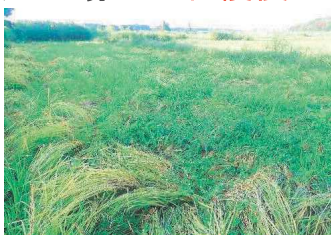


防草シート(遮光率100%)による畦畔の被覆や、秋耕と降霜による茎断片の枯殺法も試験中

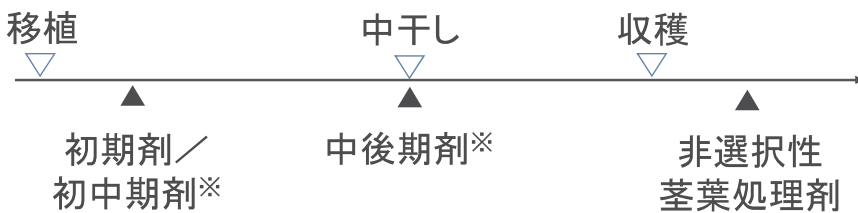
# 農薬を使った防除（本田・畦畔）

## 本田

- 都道府県の防除指針に基づき、**水稻用除草剤の体系処理**(初中期剤と中後期剤)を行う。
- まん延ほ場では**収穫後の非選択性茎葉処理剤の散布**(グリホサートカリウム塩液剤等)も効果的。



イネに覆い被さり、収穫不能に追い込まれたまん延ほ場



※ 現在、より効果的な成分や散布時期について試験中

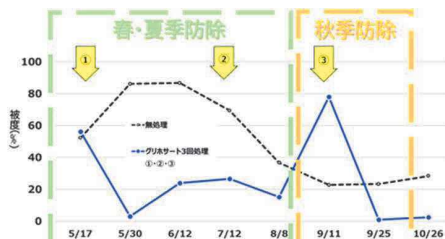
## 畦畔

- 刈り払いではなく、**非選択性除草剤\***を活用して防除する。グリホサートカリウム塩液剤は**秋季の散布**(降霜の前まで)が効果的。

※ 現在、より効果的な成分や散布時期について試験中



侵入地点となる水口付近を丁寧に防除



グリホサート散布後のナガエツルノゲイトウの被度の推移(実線)

## 注意

除草剤はラベルの表示(適用場所、使用量、散布回数など)を熟読して使用すること。河川や湖沼に流出するおそれのある場所(河川敷や水路など)では使用しない!

水上の群落には除草剤を散布しない

